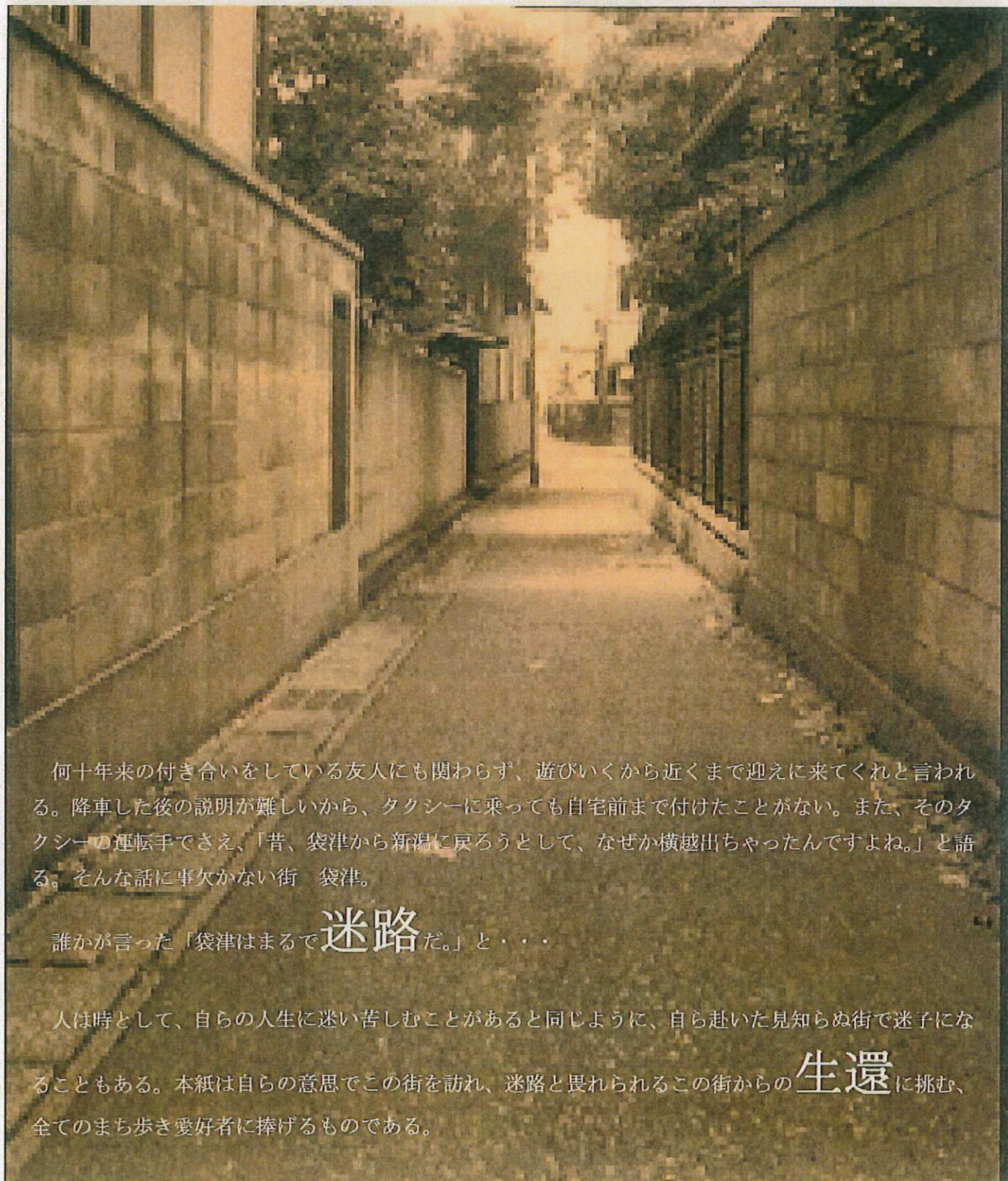


袋津の歩き方

～袋津から無事生還するための7つの約束～



何十年来の付き合いをしている友人にも関わらず、遊びいくから近くまで迎えに来てくれと言われる。降車した後の説明が難しいから、タクシーに乗っても自宅前まで付けたことがない。また、そのタクシーの運転手でさえ、「昔、袋津から新潟に戻ろうとして、なぜか横越出ちゃったんですよね。」と語る。そんな話に事欠かない街 袋津。

誰かが言った「袋津はまるで**迷路**だ。」と・・・

人は時として、自らの人生に迷い苦しむことがあると同じように、自ら赴いた見知らぬ街で迷子になることもある。本紙は自らの意思でこの街を訪れ、迷路と畏れられるこの街からの**生還**に挑む、全てのまち歩き愛好者に捧げるものである。

約束その 1 車で入り込んではいけない



袋津は道路が狭い。車のすれ違いすら厳しいところがある。ここに住む民は対向車が来ても、どこにすれ違いポイントがあるか熟知しているから大丈夫だが、ビギナーにはその知識が無い。また、途中から車が先に進めない

幅になったり、**ブロック塀**が行く手を遮るなど運転テクニックだけでは解決できないミッションに遭遇するケースが多々ある。



この街にチャレンジする時は、直接、この地のコアエリアに車で来るようなことは避けなければいけない。しかしながら、最寄の亀田駅から徒歩で 20 分程度要することから、どうしても車で来る場合はキューピット三條岡店で買い物をお勧めしたい。あくまでも買い物が主で、そのついでに少しその辺をぶらつくということなので、駐車場の幹旋との誤解が無いようにお願いしたい。

※キューピット三條岡店は、生鮮食品、肉・魚、お惣菜をはじめ品数も豊富なお店です。

約束その 2 夜訪れてはいけない

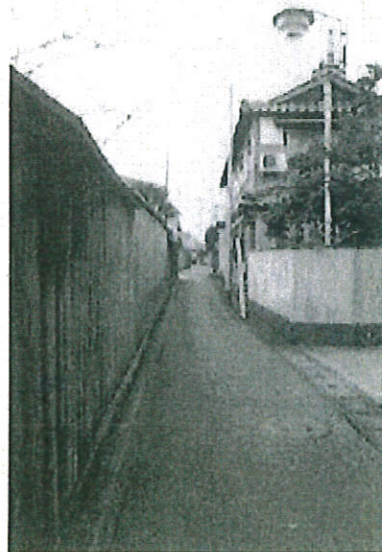
袋津は、亀田の中でも最も早く開発された地域のひとつである。一説には大同年間（西暦 800 年以降）には、既に人が暮らしていたとの話もある。そのせいかコアエリアのあたり

は所謂 **“旦那様”のお宅が多い。**

そのため、道路に民家の灯りが届かない通りがある。かと言って特別防犯灯が充実して、夜でも明るい街ではないので、薄暗い通りが多々ある。昼間でも道が分かりにくく、小路が多いこの街をよそ者が夜歩くなど自ら死地に赴く暴挙である。どうしても夜歩いてみたいなら、毎年 7 月 14・15 日

に行われる「**袋津まつり**」の夜をお勧めしたい。

ただし、他なる危険もあるのでそれについては後述したい。



約束その 3 独りで来てはいけない



この地に限らず、知らない街を散策する際は独りで行動することは避けたい。幸い、この袋津を

案内しながら街を堪能するまち歩きを行っている団体がある（かめだ学会・がっどこむ亀田）ので、そこが主催するまち歩きに参加することをお勧めする。

なお、まち歩きの開催告知は「区役所だよりこうなん」又は「市報にいがた」を参照されたい。

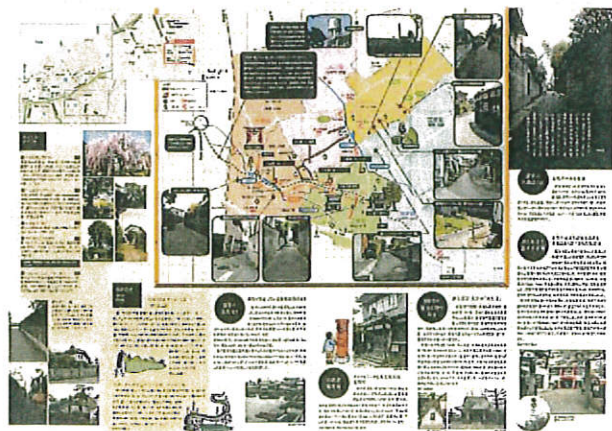
約束その 4 現地で食料の調達やトイレを期待してはいけない

かつて亀田は織物の街として名を馳せた。そのなかでも袋津は主力地域として、多くの織物関係の会社が活動していた。そのため、亀田はかつては割烹、仕出し・貸席等の料理屋があったが、織物業の衰退と時代の変遷によりその姿を消していった。

現在、袋津で飲食できる場所は、「とやま食堂」と「いりやま」だけで、いりやまに至っては夜しか営業していない。

また、昔からの住宅地から**コンビニが無い**。同様の理由から気軽に入れるトイレも無い。この地に赴く際は、自らの食糧を確保し出発前に用を足してから行動を起こすことをお勧めする。
※キューピット三條岡店は、生鮮食品、肉・魚、お惣菜をはじめ品数も豊富なお店です。トイレもあります。

約束その 5 まち歩きマップの地図を信用してはいけない



袋津のまち歩き用に、かめだ学会の編集により平成20年にマップが作成された。地元の古老などにインタビューしてできた秀逸のマップである。

しかし、この地図に頼ってはいけない。なぜなら細かな小路は記載されていないからだ。逆に言えば、それだけややこしい小路が多くあるということだ。マップに頼

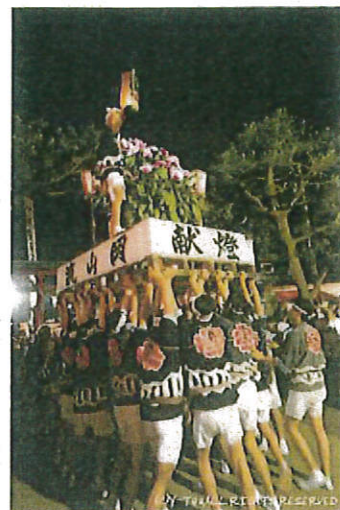
らず自分の**感性で歩き**、迷うことも一興ではないだろうか。

約束その 6 祭りの夜の灯籠には近寄ってはいけない

7月14日・15日は袋津まつり。伊夜日子神社に6基の灯籠と、神楽舞が奉納される。灯籠は各組ごとに花が決まっており、それぞれ工夫を凝らし

た飾り付けを行う。宮上りの途中、灯籠同士が**ぶつけ合い**をするのだが、決して近寄って見てはいけない。何と言ってもアルコールの入った若衆が、興奮状態で押し合うのだから危なくて仕方が無い。

時々、本気モードの乱闘も起きる場合もあり、そのとばっちりを受けても、「まあ祭りなのでご愛敬・・・」とはいかない方は、少し離れて見物することを勧める。ちなみに見学ポイントは、大虎商店脇・小池ガラス店前・神社境内がオススメ。



約束その 7 お店を見逃してはいけない

かつての賑わいは失せたとはいえ、この街にも魅力的なお店はある。例えば、「新し屋酒店」だ。個人的には日本酒とワインがお勧めだ。日本酒に至ってはオリジナル

ブランドである「越しの三昧」、「**亀田三昧**」

があり、好評を得ている。もちろん地元の越乃寒梅や、佐渡の酒「北雪」、「八海山」などの銘柄も充実している。



あたらし屋 スタッフ

片山商店では、米、味噌がお勧めだ。何と言ってもここのご主人は米マイスターの資格を有している。文字通り米の達人だ。こちらでの一押しは「塩麴」だ。鶏肉、魚に塗ってよし、塩の代わりに調味料として使ってもいい。私は冷ややっこにかけている。まさに美味だ。

最近では**麴ドリンク**「一夜雪」もお勧めだ。まち歩き途中でこのドリンクを飲んで小休止するのがとても良い感じである。是非堪能してもらいたい。

重要 どうしても脱出できない場合は、お店で買い物をしたついでに教えてもらいましょう。

コミュニティ・コーディネーター育成講座 袋津まち歩きチーム（田村智江・小倉マサ子・山田 諭）

編集 塚本栄一（まち歩きガイド）

平成25年度コミュニティ・コーディネーター育成事業

主催：新潟市教育委員会亀田地区公民館・新潟市江南区役所地域課

電話 025-382-3703（亀田地区公民館）